

## ■平成26年度 第2回「船坂まちづくり塾」の結果をお知らせします

去る平成27年2月21日(月)午前10時より船坂公会堂にて、第2回「船坂まちづくり塾」を開催しました。当日は船坂地区住民16名の参加がありました。

### 第2回 船坂まちづくり塾の内容

1. 前回の振り返り
2. 私が思う船坂の魅力
3. 船坂の魅力をまとめよう

### 1. 前回の振り返り

第1回「船坂まちづくり塾」では、昨年行った集落点検の結果から地域の現状把握と将来について考えました。

### 2. 私が思う船坂の魅力

#### ●船坂小学校跡施設活用計画検討で行ったこと

「船坂小学校跡施設活用計画策定業務報告書(Studio-L)」の成果(平成24年の取り組み)から、以前の船坂の皆さんの意見を振り返りました。

#### ●船坂に最近引っ越して来た人たちのお話

ゲストの山さん、中村さん、船坂でスリランカ料理店を営むシャンタさん、古閑さんや有藤さん、松田さんにお話をうかがいました。



山さん(写真右)船坂歴4年  
中村さん(写真左)船坂歴8年



古閑さん(写真右)  
シャンタさん(写真左)

#### ■移り住んだきっかけ、決意のポイントは何か。

##### [船坂を好きになった]

- ・田舎暮らしをしたいという願望があり、船坂の里山風景に惚れ込んだ。
- ・竹炭をつくりたくて、田舎に引っ越す話になり、明るくて川の近くに住めるのが魅力的だった。都会にも近く、子どもが遊ぶ環境としても良いと言われた。
- ・日本の田舎が好きで、神戸、阪神間の田舎で店舗を探していた。たまたまネットで物件を見つけ周辺の雰囲気と建物を見てここが良いと思った。

##### [仕事のため]

- ・仕事をする上で交通の便が良く、しかも土地代が安かったから。(車では宝塚、三田、西宮のどの方面にもアクセスしやすい。)

#### ■移り住む前の船坂のイメージ。

- ・全く知らなかった。(案外船坂は知られていない。)
- ・田舎は暗いというイメージがあった。

#### ■移り住んできた後のイメージは変わったか。

- ・景色が良く人がやさしい。子供がいると、皆が話しかけてくれる。
- ・田舎の人は閉鎖的なイメージがあったが、実際は全然違った。すごく支えてもらっている。

#### ■子供について

- ・喘息が治った。
- ・走り回って遊んでいる。

#### ■日常生活で不便を感じる点。

- ・スーパーだと100円の食パンを買えるが、コンビニでは150円する。
- ・小学校のバス代が大変。

- ・バスの不便さなどは感じる
- ・特段不便は感じない。

#### ■地元になじむのに時間がかかったりなどはあったか。

##### [開放的な部分]

- ・引っ越したばかりの時に若母の集いや船坂新聞の編集委員に引っ張ってもらった。
- ・店を開いたとき、色んな人が噂を聞きつけてやってきてくれた。今も地域の人にすごく支えてもらっている。
- ・隣保長にお願いすると、自治会にはすぐに入らせてもらえた。

##### [閉鎖的な部分]

- ・自治会加入の際、隣保の承認が必要だと聞いた。
- 船坂の将来に向けて、何かしておいた方が良くと思うこと。若い人に移り住んでもらうために何か工夫した方が良く。

##### [情報発信]

- ・船坂に住みたい人は結構いる。(相談を受けたりする)
- ・空物件等の不動産情報や古民家のリフォームや賃貸をする取り組みが必要ではないか。(物件情報がない)
- ・一度来た友達は、またカフェに一人で来たりする。
- ・フェイスブック等で船坂の魅力の情報発信をしてはどうか。

##### [住環境を整える]

- ・市街化調整区域の建築制限がもう少し柔らかくなれば良い。

#### ■これから移り住もうとしている人にアドバイスを。

- ・船坂の良さは住んでみたらわかる。

(裏面につづく)

■改善した方がよい所。伸ばしてほしい魅力。

[改善点]

- ・もう少し大きく、かつ遊具のある公園がほしい。
- ・若い人に船坂の人の農業、干し柿、しめ縄等の経験を教える機会ができたら良い。
- ・若い人が流出するのも問題。

[魅力]

- ・景色と人が良い。居心地が良い。
- ・野菜がすごく甘くておいしい。

[その他]

- ・今すぐ立ち上がって何かをしないといけない状況でもない気はする。

## ●外から見えてくる船坂の話

まちなみ発見クラブ 上田さん

■船坂でどんなことをしているか。

→まちなみ発見クラブで写真を撮って船坂を紹介している。昨年3月から4月にコースマップを作り、パネル展で展示をした。(ランチルームにも展示しています)

(右上段➤)

■コースの中でも特に好きな景色、場所はどこか。

→盤滝トンネルの出口あたりから船坂小学校を見た景色と蓬莱峡溪谷が一望できる場所。昔話や御伽話が立看板になっているが、写真を撮っていると、それらの情景が浮かんでくる。

■少子高齢化が進む船坂の将来に向けて、何かしておいた方が良くと思うこと。

→ここでしか作れないものを力を合わせて作ることができれば良いと思う。(岐阜のマンゴー、四国の葉っぱビジネス等)

■船坂で直した方が良くいところ、伸ばしてほしい魅力とは。

→小学校、スーパーや病院があれば良いと思う。ブルーシートなど畑の無造作な風景に目がいってしまう。ビエンナーレのために、自然も大切に残していけたら良いと思う。



## 3. 船坂の魅力をまとめよう

### ●ゲストのお話をきいて、船坂の皆さんが感じたことなど

- ・高齢化し、人口が減っていくことに無関心な人も多い。
- ・新しい人は知らないかもしれないが実は閉鎖的な部分もある。
- ・船坂は女性の力が強く、変えたいと思っている人もいる。
- ・関心のある人だけでがんばり、新しい人を入れて増やしていくしかない。



### ■まとめ

今回、参加者の皆さんから示されたのは、船坂は単なる「田舎」ではなく、ものすごく「都会に近い便利な田舎」で、人が集まる魅力が十分ある場所だから、「ちゃんと迎え入れる準備さえできていれば、若い人はやってくる」という視点と、「高齢化といってもちゃんと暮らせている人は多いので、そんなに問題はないのではないか」という視点でした。

ふりかえてみると、第1回まちづくり塾では「少子高齢化で船坂はとても心配なことになりそうだ」という話になりました。どうもこの2回の話の温度差が、現状の船坂の問題の根本にあるように思います。

もう少し詳しくこの温度差の部分を見ていくと、船坂にどんなビジョンが必要か？それとも必要ないのか？ということが見えてくるかもしれません。関心のない人が多いというご意見も含めて、これから何をどう進めていけばいいか、そういったことを考える入口に差し掛かってきたのではないのでしょうか。

次回は、皆さんが話をする立場に立って、船坂の将来について考えていきましょう。

## 平成 26 年度 第 3 回「船坂まちづくり塾」のご案内

～船坂の「これから」を語り合おう～

魅力と可能性から課題の解決策をみんなで考えてみましょう。

日時：2015年3月21日(土)  
午前 10:00～12:00

場所：船坂公会堂

